

◆ 事務局

第62回建築士会全国大会「北海道大会」の案内

日時:令和元年9月21日(土)

会場:函館アリーナ(北海道函館市)

申込締切:令和元年6月28日(金)まで富山県建築士会事務局に、会誌4月号の参加希望申込書を提出願います。

なお、砺波支部主催のツアーに参加される方はそちらに参加希望申込書をご提出ください。

いずれも会員の参加登録費(5,000円)は本会で負担します。全国大会に関するお問合せは、富山県建築士会事務局(TEL 076-482-4446)までご連絡下さい。

2019年度建築関係技術者のための「監理技術者講習」の案内について(DVD講習)

2019年度の建築関係施工技術者(1級建築士、1級建築施工管理技士、1級電気工事施工管理技士、1級管工事施工管理技士等)向けの「監理技術者講習」の日程が決まりましたのでご案内いたします。

開催日	会場	定員
9月11日(水)	富山県教育文化会館504	30
11月21日(木)	富山県教育文化会館503	30
2020年2月27日(木)	富山県教育文化会館503	30
3月27日(金)	富山県教育文化会館503	30

【講習開催日程】受付9:00開始 講習+試験9:30~17:30
 申込等詳細は日本建築士会連合会のホームページをご覧ください。

2019年度建築士定期講習

会場コード	開催日	会場	定員
3B-02	7月18日(木)	砺波まなび交流館(砺波市栄町717)	60
3B-03	10月3日(木)	富山県新川文化ホール(魚津市宮津110)	56
3B-04	11月11日(月)	富山県高岡文化ホール(高岡市中川園町13-1)	80
未定	12月	富山市(会場未定)	100
未定	3月	富山市(会場未定)	100

※6月20日の講習は定員に達したので申込を締め切りました。
 時間:9:20~17:30

受講料:テキスト2冊を含めて12,960円

申込:建築士会事務局(平日9:00~17:00)まで

問合せ先:建築士会事務局 担当:佐藤

※申込等詳細は同封の案内チラシ又は本会ホームページをご覧ください。

「既存住宅状況調査技術者講習」のお知らせ

平成30年4月から既存住宅の取引(売買)の際に「既存住宅状況調査」が重要事項説明の対象となりました。

このため本会では、今年度も調査の担い手となる技術者の育成を図るため「既存住宅状況調査技術者講習」を次のとおり開催します。

講習会は建築士(一級・二級・木造)を対象として、新規講習と移行講習の2種類あり、このうち移行講習は国土交通省の長期優良住宅化リフォーム推進事業のインスペクターとして講習

登録団体に登録されている建築士を対象としています。申込受付は日本建築士会連合会のホームページをご覧ください。また、郵送でのお申し込みもできます。

講習区別	新規講習	移行講習
開催日	6月13日(木)	7月11日(木)
講習時間	9:20~17:00	13:10~17:50
定員	70人	40人
会場	富山県教育文化会館1階集会室	サンシップとやま601
受講料	WEB 21,060円 郵送 21,600円	WEB 16,740円 郵送 17,280円

「次世代住宅ポイント制度とリフォーム工事に 関する講習会」のお知らせ

今年10月の消費税率引き上げに伴う新たな住宅政策である「次世代住宅ポイント制度」についてのDVDによる講習会を次のとおり開催します。このほか住宅リフォーム工事に関する講習は、既存住宅状況調査技術者登録者に向けたスキルアップ講習であり、調査に役立つ実務的な部分について学習できる講習会となっています。

開催日時:6月27日(木)9:30~11:50

定員:60人

会場:富山県教育文化会館1階集会室

受講料:会員等:3,500円 一般:5,500円

申込等詳細は本会ホームページをご覧ください。

◆ 青年委員会

「建築BIM(ARCHICAD22)体験会」のご案内

日時:2019年7月18日(木)13:30~15:30

会場:富山県建築設計会館3階会議室(富山市安住町7-1)

講師:姉崎聖子(グラフィソフソフトジャパン(株))

内容:建築BIMの基本的な操作技術を習得し、建築CADとしての可能性を探るとともに、国土省の「建築BIM推進会議(仮称)」設置の社会背景や現在の取り組みを学び、総合的な建築技能の向上を図ります。

この体験会は、世界初の建築BIMソフト「ARCHICAD(アーキキャド)」を提供しているグラフィソフソフトジャパン(株)との「青年委員会 建築技能者連帯事業」です。

注意事項:演習形式なので、ノートPCをご持参ください。

また、事前に下記の動作環境の確認をお願いいたします。

OS:Windows10(64bit)、macOS10.13 High Sierra、macOS10.12 Sierra

CPU:64bit プロセッサ必須。4コア以上推奨

RAM:16GB以上推奨

グラフィックカード:OpenGL3.2対応推奨

建築CPD:2単位の申請予定(CPDカードをお持ち下さい。)

定員:先着順15名(どなたでも参加できます。)

参加費:無料

申込期限・申込先:令和元年6月29日(金)まで、氏名、会社名、

連絡先を明記の上、メール又はファックスで下記まで

E-mail:info@migaki.net FAX:076-461-7782

問合せ先:青年委員会 担当:前田

(株式会社ミガキ TEL:076-461-7781)

「とやま青年建築志のつどい」開催のご案内

~朝活1000回に学ぶ、人をわくわくさせ続ける事業づくりの秘訣とは~

日時:令和元年6月22日(土) 14:00~17:00 (交流会:17:30~)
 会場:富山県民会館 701 号室(富山市新総曲輪 4-18)
 主旨:これからの富山の建築を担う青年建築志(建築士、大工等技能者、不動産業界の青年層)が集い、仕事におけるスキルアップを図るとともに、交流を深めてネットワークを形成していく場とします。また新元号を迎え、我々青年建築志が今後の組織・事業づくりに向けて進むべき方向性と課題を捉え、情報を共有する機会とします。

内容:開会 14:00(受付 13:30~)

I 活動報告 14:15~

建築技能者及び北陸各県建築士の青年組織における H30 年度事業実績及び令和元年度事業計画を報告いただきます。

II 講演 15:15~

講師:永吉 隼人 氏(朝活ネットワーク富山 代表ペライチ富山県代表サポーター)

概要:朝活 1000 回を通して得た、令和への新たな一歩を踏み出す組織・事業づくりのヒントを紹介いたします。

III 交流会 17:30~

場所 会場周辺で調整中 会費 5,000 円程度

問合せ先:青年委員会 委員長 山崎 TEL:090-8763-3698

申込:下記申込書で6月14日までメールか FAX で下記まで
 E-mail d-oka@ken21.com(担当 岡)
 FAX 076-482-4448 建築士会事務局

申込み内容(参加する□にチェックをお願いします。何れかのみ参加も可能です。どなたでも参加できます。)	
<input type="checkbox"/> I 活動報告	<input type="checkbox"/> II 講演
<input type="checkbox"/> III 交流会	
お名前	<input type="checkbox"/> 一般 <input type="checkbox"/> 会員
お勤め先	
お住まい 市・町・村	電話番号(携帯・勤務先・自宅) - -
E-mail または FAX 番号	

◆ 砺波支部

第 62 回建築士会全国大会「北海道大会」(函館) ツアーのご案内

日時:令和元年9月21日(土)~22日(日)

視察先:北海道函館市内(式典は函館アリーナ)

内容:全国大会北海道大会に参加し、下記の建築・街並み視察を行います。JR でゆっくり移動し、函館駅前のホテルに宿泊。詳細な旅程は後日参加者へ直接案内致します。
 <視察予定地> ・五稜郭・赤レンガ倉庫群・明治館(旧函館郵便局)・元町末広町(重要伝統的建造物群保存地区)・路面電車・函館山眺望や漁火夜景 ほか計画中

建築 CPD:2 単位(予定)

定員:15 名

参加費:会員 72,000 円(交通費および宿泊費。砺波支部会員の参加費はお問合せ下さい)

※参加者の希望によっては2泊も検討致します。

申込先・申込期限:6月15日(土)までメール又はファックスで
 E-mail:aqua@trad.ocn.ne.jp FAX:0763-33-7707 まで

問合せ先:砺波支部 担当:水木(TEL:090-4952-6560)

◆ 富山県建築設計監理協同組合

「第 1 回木造公共建築講座」開催のご案内

日時:令和元年6月26日(水)14:00~17:00

会場:富山県民会館 301 号室(富山市新総曲輪 4-18)

講師:(一社)全国木材組合連合会派遣講師外

内容:JAS 構造材利用拡大推進事業並びに外構部材木質化支援事業について

建築 CPD:2 単位の申請予定(CPD カードをお持ち下さい。)

定員:先着順 50 名(どなたでも参加できます。)

参加費:無料

申込先・申込期限:令和元年6月14日までメール又はファックスで下記まで

(E-mail:s-kumiai@siren.ocn.ne.jp FAX:076-432-9786)

問合せ先:富山県建築設計監理協同組合

担当:浅井(TEL:076-432-9785)

◆ 職藝学院

職藝学院公開講座「とやま建築探訪 第 1 回」のご案内

日時:令和元年7月13日(土)13:30~16:00

会場:井波別院瑞泉寺と門前町八日町通り町並み散策(南砺市)

講師:上野幸夫氏/職藝学院教授・名匠情報センター長

(一社)日本伝統職人技術文化研究会理事長

内容:本山級の大伽藍浄土真宗井波別院瑞泉寺とその門前町として栄え、傾斜地に連続する伝統的な町並みを散策します。寺も町も多くの彫刻を用いたまちづくりが行われ、それを受け継ぐ職人達がいまいます。

集合:井波八日町交通広場駐車場(南砺市)

定員:20 名(どなたでも参加できます。)

参加費:2,000 円(資料代を含む。)

問合せ先:専門学校職藝学院 担当:大丸(TEL:076-483-8228)

申込先:メール又はファックスにてお名前と連絡先をお知らせ下さい。

(E-mail:daimaru@shokugei.ac.jp FAX:076-483-8222)

申込期限:令和元年7月5日(金)

◆ 富山県

「うるおい環境とやま賞」募集中

県内の魅力的な景観や景観づくり活動をご存知でしたらすぐに応募してみてください。

募集期間:4月19日(金)~6月28日(金)

応募先:富山県建築士会事務局(平日 9:00~17:00)まで

※応募方法等詳細は本会ホームページをご覧ください。

◆ 磨き塾(株式会社ミガキ)

「住宅政策と長期優良住宅の本質~住宅市場の誘導と建主のニーズ~」講習会開催のご案内

日時:2019年6月11日(火)13:30~15:30

会場:富山県総合情報センター 4 階第 1 研修室

住所:富山市高田 527(情報ビル)(富山商業高校向かい)

講師:晝場 貴之(ひるば たかゆき)氏(日本 ERI 株式会社)

内容:この講習会は、住宅設計・施工に関わる方向けに、統計データに基づいた施主のニーズを知り、そして、長期優良住宅を題材として、あらためて、住宅性能等級の基準と仕様を学び、その性能とコストの関係についても学べる内容です。

建築 CPD:2 単位(CPD カードをお持ち下さい。)

定員:先着順 50 名(どなたでも参加できます。)

参加費:無料 ※先月号の案内では有料となっていましたが無料といたします。

申込先・申込期限:2019年6月7日までメール又はファックスで下記まで

(E-mail:info@migaki.net FAX:076-461-7782)

問合せ先:株式会社ミガキ 担当:前田哲宏(TEL:076-461-7781)

◆ 年会費の納入について ◆

本会の年会費及び CPD 年会費は例年 5 月下旬頃請求しており、今年度も請求事務を進めているところです。

郵便振替用紙で会費納入されている方のうち、CPD 制度にも加入している方には従来は本会年会費と CPD 年会費を合算して請求することができず、2 枚郵便振替用紙を送りしていましたが、このたびシステム改修に伴い合算請求できるようになりました。

お手元にはこれまでのものと若干体裁が異なる郵便振替用紙が届くことと存じますが、納入期日までにご入金くださいますようよろしくお願い申し上げます。

なお、口座振替をご利用の方は 6 月 27 日(木)に引落しの予定ですので、残高の確認をよろしくお願い致します。

パネルディスカッション「伝統的建築技術と一般建築のコラボレーション」

主催：公益社団法人富山県建築士会 交流委員会

私たち建築に関係する者は、先進的な技術だけでなく手仕事の良さも理解し、一般的な建築物（住宅や、一般施設、商業ビルなどにおいても）にも使っていくことが必要ではないかと考えます。どうすればそのニーズを掘り起こせるか、そのためには伝統的技術を使いながらも何かを変えて時代のニーズに応じて行くことはできないか、このような問題意識の中で、今回のパネルディスカッションを計画しました。建築に関わる多くの職種のうち、今回は木、紙、土など自然素材を扱う職種の方をパネラーに迎え、近江吉郎会長がコーディネーターを務め、意見交換をしていただきました。参加者は約50名でした。

- ・日 時：平成31年2月17日（日）15:00～17:00
- ・場 所：富山市オーバードホール1階ハイビジョンシアター
- ・テーマ：伝統的建築技術と一般建築のコラボレーション
- ・問題提起及びコーディネーター：公益社団法人 富山県建築士会 会長 近江吉郎
- ・パネラー
 - ・伝統的木造大工集団：一般社団法人 八匠 理事長 下島達雄 様
 - ・手 漉 き 和 紙：有限会社 桂樹舎 代表取締役 吉田泰樹 様
 - ・銘 木：中塩銘木 代表 中塩知男 様
 - ・左 官 業 組 合：株式会社 飯野左官 代表取締役 飯野 昭彦 様

近江会長からは「AIが出来ないことをできる職人を育てていかねばならない」との提言があり、左官の飯野さんからは「出前講座をして左官の仕事に興味を持ってもらう努力をしている。室内仕上げの現状は、クロス張りが主流だが仮にその0.5%の部分を左官職人が担うとしてもパンクするぐらい職人不足である」と発言があった。

吉田さんからは「和紙の薄茶色から赤くなる前の経年変化を楽しむ余裕のある生活を人々に味わってほしい、住宅の一部でも和紙を使って欲しい」とのことで、下島さんからは「県産材をひく場所がない、プレカットが主流の世の中ではのこぎりを使う職人が育たない、またのこぎりの目立て職人が富山市内にいない」との厳しい状況が訴えられました。

中塩さんからは「眼にみえないものを推し量る感性が大事である」とのことでした。近江会長の話とも相通じますが、人手がいらなくなると買う人もいなくなる、人のぬくもりを感じられる土壁などがもっと身近にある生活をしないと、伝統技術を知らない世代がAIにあやつられる世になるのではないかと危機感を会場の発言者から感じました。

終了後パネラーを囲んで交流会をとやま自遊館にて和気あいあいと行いました。（参加者23名）

記：上梅澤



「八尾のまち」見学会の感想－歴史まちづくり部会

平成31年3月2日（土）午後1時半から旧養蚕試験場跡に建つ曳山展示館に14名が集合しました。八尾観光ガイドの「風の案内びと」代表の古川さんの解説で八尾町の旧町内を散策しました。



曳山展示館(旧養蚕試験場)



風の案内びと代表の古川さん



火除けの道

川崎順二や小杉放庵等の有名な話の他、町の地蔵様の由来や「火除け道」「背割り水路を挟んだ蔵」(水路が町の境界になっている)等、地元の人から聞かなければわからない地域の歴史です。

おわらの鑑賞用に間口が4間程あるのに奥行きが1間しかない、諏訪町通りに面した建物については、地元のガイドさんならではのお話で、聞かなければ見過ごしてしまいます。おわら祭りの時、お客様を歓待するために作ったそうです。



日本の道100選・諏訪町にある奥行1間の家



諏訪社・製紙工場の刻印がある標



八尾ベース OYATHU

また、乃木坂の謂れは明治39年6月24日に日露戦争の戦没者を慰霊する為、乃木将軍が城ヶ山公園を訪れたことからきているそうです。(出典：山杜翠さんのブログより)明治37～38年の日露戦争での旅順攻囲戦では日本側14万余名の兵力のうち7万余名もの損害が出たそうです。戦闘の主力となった金澤第九師団の富山35連隊長が戦死されるほど被害甚大でした。八尾から出征された方も大勢お亡くなりになったのだと思いました。少し行った諏訪社の標には、当時八尾地区に2-3千人いた糸繰り娘が、野麦峠を超え遠く長野県諏訪まで行った、出稼ぎ先の製糸工場のマークが刻印されています。当時の労働は過酷を極めたと女工哀史に描かれていて、映画の「あゝ野麦峠」は意外にもこんな身近な話だったのかと知りました。飛騨を越えて諏訪に行く路程も危険だった為に、八尾から藪入り時に親が諏訪まで迎えに行くこともあったそうです。ですが、帰らぬ人となった女工さんも少なくなかったそうです。戦争で働き手を失った家庭も多くあり、またうら若き女性が遠く長野県まで奉公に行ったりと、現在の自分たちでは、その当時の大変さは想像にも及びません。

近年では八尾の中心街では空き家が増えて県外資本の別荘として買われることも多く、有名な加賀屋だけで4軒も所有していると聞き、驚きました。

見学後は八尾ベース OYATHU でコーヒーを飲みながら参加者で談笑したり、意見交換をしたりと楽しい一日を過ごしました。

(柳澤寧季 記)